

陳述内容の概要

聖泉大学 富川拓

1. 若者層における男女共同参画意識の現状

2. 定着のために必要な取組、子ども・若者の意見表明を進めるために必要な取組

取組み例

①授業、ゼミ、課外での取組み（聖泉大学等）

- ・ジェンダー論、社会学の授業等
- ・PBL、サービス・ラーニング
- ・実践と研究

②くれよんの取組み

くれよんは、ジェンダー平等ミーティングに参加していた聖泉大学富川研究室の学生を中心に、令和4（2022）年9月に設立した任意団体です。ジェンダー平等社会の実現を目指して活動しています。

主な活動：ジェンダー平等ミーティングへの参加、講座・出前授業の開催、意見交換会の開催など。2月15日に講座を開催予定『武道とジェンダー』

共同代表：谷口海月（社会人、聖泉大学卒業生）、富川拓（聖泉大学教員）

メンバー：大学生14名（聖泉大学、滋賀大学、滋賀県立大学、長浜バイオ大学）

卒業生7名（聖泉大学、長浜バイオ大学、立命館大学）

③ジェンダー平等ミーティング

滋賀県立男女共同参画センター様の取組み

④しがミモザカレッジ（しがミモザプロジェクト）

特定非営利活動法人男女共同参画をすすめる会・IYOU 淡海様の取組み

3. 取組推進に向けて